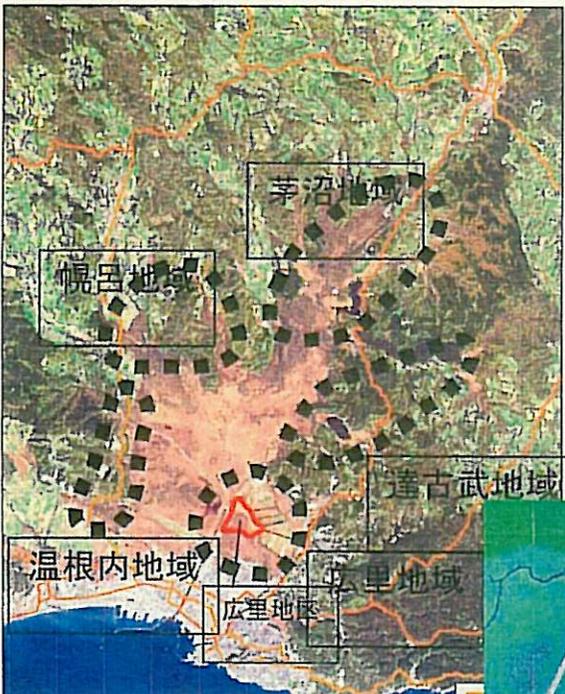


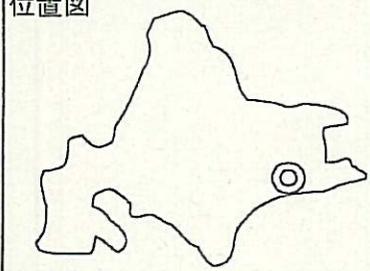
地区名	釧路湿原	事業名	自然再生整備事業	年度	H14	区分	継続
-----	------	-----	----------	----	-----	----	----

別紙1-3

事業主体	環境省(東北北海道地区自然保護事務所)				
自然公園等名	釧路湿原国立公園				
所在地	北海道釧路市、釧路町、標茶町、鶴居村				
補助率	10/10	予定工期	H13(補正)	～	
予算(単位:百万円)	総額	前年度迄	当該年度	以降残	備考
	事業(調査)費	—	400(H13補正)	400	—
	国費	—	400(H13補正)	400	—
地区の概要	<p>釧路湿原は、約1万8千ヘクタールに及ぶわが国最大の湿原であり、そのうちの約5千5百ヘクタールが1967年に天然記念物に指定され、同一地域が1980年わが国最初のラムサール条約に基づく湿地として登録された。その後、1987年(昭和62年)にはわが国で28番目の最も新しい国立公園として指定(約2万7千ヘクタール)されており、釧路市・釧路町・標茶町・鶴居村・弟子屈町の5市町村にまたがる広大な集水域を有している。そこには、釧路湿原に特有のタンチョウ、キタサンショウウオ、イトウ、カブスゲ群落(ヤチボウズ)などを含む多様な野生動物植物が生息・生育しているほか、保水・浄化機能や遊水池としての洪水調節機能、湿原特有の景観資源・観光資源としての機能等を有している。</p>				
再生の必要性	<p>近年の流域における経済活動の拡大(農地の拡大、森林の伐採)に伴い、湿原面積は著しく減少するとともに、土砂や栄養分が湿原に流入することによって湿原植生もヨシ・スゲ群落からハンノキ林への急激な変化が見られるなど湿原の乾燥化が進んでいる。1947年(昭和22年)から1996年(平成8年)までの50年間に湿原面積は約2万5千ヘクタールから約1万9千ヘクタールへと2割以上減少した。そのうちハンノキ林の面積は、1947年から1977年(昭和52年)までの30年間で4割増であるが、その後1996年までの20年間で2.4倍と加速度的に増大している。</p> <p>このように、湿原生態系の消失・劣化が進んでおり、湿原そのものや周辺を取り巻く自然環境の再生が緊急の課題となっている。</p>				
委員会	<p>名称 環境省釧路湿原自然再生事業に関する実務会合 (主要メンバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中村 太士 北海道大学大学院教授&lt;座長&gt; (顧問) 辻井 達一 北海道環境財団理事長</li> <li>・金子 正美 酪農学園大学助教授</li> <li>・生方 秀紀 北海道教育大学釧路校教授</li> <li>・高嶋八千代 北海道教育大学釧路校講師</li> <li>・橋本 正雄 釧路市立博物館館長補佐</li> <li>・新庄 久志 釧路国際ウェットランドセンター主幹</li> <li>・トラストサルン釧路</li> <li>・日本野鳥の会鶴居タンチョウサンクチュアリ</li> <li>・鶴居村タンチョウ愛護会</li> <li>・鶴居村農業協同組合</li> <li>・釧路市</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(顧問) 辻井 達一 北海道環境財団理事長</li> <li>・神田 房行 北海道教育大学釧路校教授</li> <li>・蛭田 眞一 北海道教育大学釧路校助教授</li> <li>・小磯 修二 釧路公立大学教授</li> <li>・針生 勲 釧路市立博物館館長補佐</li> <li>・古賀 公也 阿寒国際ツルセンター副主幹</li> <li>・タンチョウ保護調査連合</li> <li>・釧路湿原やちの会</li> <li>・阿寒農業協同組合</li> <li>・北海道</li> <li>・※北海道開発局、林野庁はオブザーバー参加</li> </ul>				



位置図



● 廣里地区



概要	<p>事業メニューは、① 湿原の再生(乾燥化した湿原の回復、ハンノキ林の除去、ヨシ・スゲの植栽等)② 野生生物の生息環境整備(タンチョウのねぐら、餌場整備等) ③ 土砂流入対策(裸地等への植林、沈砂地整備等)。</p> <p>事業に当たって、まず、流域、湿原全域、重点地域の各レベルにおける詳細調査を実施。パイロット的に事業を試行予定の廣里地区では、地下水位、植生等の詳細調査に基づき、目標像や再生サイト、事業内容について左記実務会合等で議論した上で、事業実施予定。具体的には、農地造成跡地の地盤の掘り下げ等による湿原植生再生や、侵入したハンノキ林の除去等を予定。</p> <p>達古武地域では、「NPO法人トラストサルン釧路」と協働で、伐採跡地の森林再生等の事業に取り組み予定。</p>	
	事業連携等	<p>連携先</p> <p>北海道開発局(河川) 林野庁</p>